

◆先輩からのアドバイス◆

大学院に進学するための心得

ここでは、大学院への進学を考えている学生に向けて、学部生のうちにやっておくべき勉強と心構えについて述べたいと思う。

まずやっておくべき勉強であるが、これは学部1～2年で学ぶ基礎的な科目の復習である。その理由は、基礎的な勉強をやっていないと、大学院での研究につながるような分野を勉強する学部4年のゼミで、何度も基礎的な内容を復習する羽目になるからだ。そうすると、自分が研究したいテーマの何個も前の段階で詰まって、なかなか本テーマに辿り着けず、本来の研究の目的ややりたいことから離れてしまい、モチベーションも下がっていく、ということになりかねない。逆に、基礎的な内容がしっかり頭に入っていれば、初めて勉強するような専門的な話であっても、ゆっくりと時間をかければ、さほどつまらずにテーマに向けて走っていけるだろう。

大学院進学前の心構えとしては、何よりも大切なのが積極性を持っておくことだ。学部生のときには、毎日授業を受けて、レポートを提出して、テストの対策もして、というようにどこか受け身の状態で学問を学んできた人が多いだろう。大学院では、ほとんどの時間を自分1人で研究テーマに向かっていく時間になければならない。したがって、日頃から自分が選んだ学科の中でどの分野に興味があるのかや、大学院でどのような研究生活を送りたいかななどを、少しでもイメージしておいたほうが大学院生活を有意義に過ごしていけるだろう。

(理工学研究科 数理科学専攻 M1)